EBINO CITY PUBLIC RELATIONS

# 広報えびの

7
JULY
2005
No.465

CONTENTS

[特集]
**分別のその後と有料化**
分別のその後の分析、増える不法投棄、ごみの有料化を特集。

えびの市の広報７月号の表紙に大河平小学校の給食風景が掲載されました。

www.city.ebino.miyazaki.jp

# 心の一首一句

歌友（うたどち）と向き合ひ語る喜悦（よろこび）は
法然様の御利益（ごりやく）と思ふ

栗下区　深江チヨ

この春、金松法然様の灯籠の献灯祭に参列した作者。久々に友達と会い、語り合えた喜びは、偏（ひたすら）に神仏の御加護があって、老いづける自分が生かされているという感謝の念に、溢れた歌である。

（評　竹下妙子）

長崎の坂辿りゆく青葉風

中島区　石坂伊左郎

時々、市街地を見下ろしながら、長崎の曲がりくねった坂道を登っていました。周囲は夏の濃い青葉に覆われています。汗ばんだ体には、その坂道に沿って流れる青葉風が心地好く感じられます。

（自註）

梅雨の入り

東長江浦上区　渕上ミコ

樹木のみどりも色を増し
カンナの花もより紅し
庭の花々活々と
色気たっぷりしずくして
畑に目にする野菜には
トマト、キュウリとナスビなど
雨のしずくで太くなり
日に日に実る夏野菜
まじかに盛夏思わせる
昨年猛暑の暑さには
人間たちは太陽が
地球に近づく思いして
温度の記録40度
やけどするよなあの暑さ
今年の夏はほどほどの
暑さであってほしいねと
友と語りし今日の日よ

あなたもつくってみませんか。（短歌）竹下妙子さん☎0984－37－3056（俳句）阿野文雄さん☎0984－37－1653（詩）総務課行政広報係☎0984－35－1111（内線312まで）

# おすすめの一冊

**『いつか、虹の向こうへ』**
伊岡瞬／著
（角川書店）

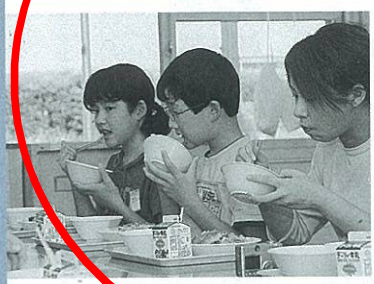
職も家族も失った元刑事に残されたのは、3人の居候たちとの奇妙な同居生活だけだった。家出中の少女が彼の家に転がり込んできたことがきっかけで、ある殺人事件に巻き込まれてしまう。

■推薦：市民図書館

## 編集後記

特集した分別のその後と有料化。取材で初めて小林市の容器包装中間処理施設に行きました。山積みのプラスチックのごみ袋が次々に開かれ、手作業で不適合品が取り除かれていきます。その作業する姿を見ていると、改めて「しっかり分別しないと」と感じました。現在市での収集は、明らかな不適合品が袋の外から見える場合、収集せず、はり紙をして残します。私の家でもはり紙がはってあったことがあります。その時はストローなど容器包装ではないものが入っていたからだと思います。家族全員で取り組む必要があると感じました。（稲元）

## 今月の表紙



**地元で採れたタケノコが給食に登場**

写真は大河平小学校の子どもたち。大河平小の子どもたちはみんなタケノコ掘りの名人だそうです。とてもおいしそうに食べていました。